

U-18・U-15年代のゲーム環境の整備

1、年間リーグの創出

(1) 趣 旨

全てのチームに同数のゲームを確保し、ゲームの中から抽出された課題をトレーニングで改善していく中で、選手を育成と指導者の資質向上を図っていく。また、育成年代全体を通して、年間リーグをやり込んでいく事で、選手が自ら考えて成功と失敗を繰り返す中から、責任感のある「タフで逞しい自立した選手」の育成を目指す。

リーグへの参加は、リーグの趣旨に賛同したチームが参加するものとし、JFA 加盟の全てのチームはこの権利を有する。リーグ戦は自主運営を基本とし、日常のゲーム環境を自分たちで創出していく。また、個人登録している全ての選手に、公式戦の出場機会を作り出す為に、1登録クラブ内で複数チームの参加を認める。

(2) リーグの基本要件

- ①年間 20 ゲーム程度の 2 回戦制(ホーム&アウェイが理想)、8~9 か月間の年間リーグ。
リーグの開始時期は 1 月以降 (FIFA 年齢に合わせる) とし、カップ戦での中断期間は認める。

【降雪地域は 14~16 ゲーム、年間 6~7 か月】

◆補足説明

- ・U-18、U-15 年代に於いては、土日の連戦で行う事は認められない。
- ・FA 下部リーグに於いては、2 回戦制がマストではなく、年間 10 ゲーム以上を目指す。
- ・U-13 リーグに関しては、2 回戦制がマストではない。
(中学校 1 年生の入部期間などを考えると、新年度早々のリーグの開始が、困難な場合が考えられる為。)

【離島などレアケースに関しては、個別に対応していく。】

- ② 能力別リーグ (U-18・U-15) であり、リーグ同士の入れ替えである事。

◆補足説明

- ・U-18・U-15 年代に於いては、カップ戦からの参入は出来ない。(例：新人戦上位チームが 1 部リーグに参入する事は出来ない。)

- ③ 複数チームの参加に制限なし。

◆補足説明

- ・1st チームの直下のリーグまで、2nd チームは実力に応じて昇降格できる。
- ・リーグの昇降格は 1st チームを基準とし、1st チームが降格してリーグが重なる場合は、2nd チームはリーグの順位に関係なく下部リーグに降格する。
- ・複数チームの出場に関しては、自主運営が出来る事は条件となる。

この基本要件を満たしていない FA リーグは、上位リーグ (地域リーグ) 及び JFA 主催大会、リーグとの連携は出来ない。

上記の要件を満たしたリーグ完成は 2012 年とするが、今年度 2013 年のリーグ戦が完成することを JFA の承認を得れば 2013 年度完成を認める。(2009 年 10 月理事会で承認)

(3) リーグ更に良くする為に

- ① 基本要件を整備したうえで、定期的にバランスの良いリーグを創出していく。
 - ・ カップ戦での中断期間は認められるが、リーグ開催に偏りが無い事。
(例：4月～11月でリーグは行われているが、実質のリーグが4、5月と10、11月の4カ月しかないリーグは、バランスが取れているとは言えない)
- ② U-12年代に関しては、毎月2回程度の8人制リーグを定期的に行う事を目指し、8人制サッカーの年間通した定着を図っていく。また、この年代は、土曜日1ゲーム、日曜日1ゲームの2連戦、または日曜日の2連戦、(その場合は土曜日はゲームを入れない)までは認める。

2、高円宮杯

JFAでは、日常のゲーム環境の整備を第一の目的とし、育成年代全体で年間リーグの整備を行う。JFA主催の高円宮杯はリーグ戦の結果を反映させて、参加チームの決定を行う。

(1) U-18年代

- ・ プレミアリーグの東西チャンピオンによる、チャンピオンシップを1試合行う。

(2) U-15年代

- ・ U-15年代の高円宮杯は、32チームのノックアウト方式のトーナメント大会とする。
- ・ 32代表は、地域リーグの上位チームが出場する。しかし、3種年代の特性を考慮して、FAリーグの上位チームと、地域リーグのチームによるプレーオフを行う事は認める。
- ※ 地域リーグからは、1チーム以上はプレーオフに参加することなく、高円宮杯の権利を得る。
- ※ FAのプレーオフは、リーグ戦の上位チームによるものとする。また、日常のゲーム環境(リーグ戦日程の確保 etc)を重視し、リーグを文化として定着させていく為に、プレーオフの規模は段階的に小さくしていく。
(リーグ戦参加の全チームが、プレーオフに参加する事は認められない。)

U-15年代の地域 (FA) プレーオフは2012年に完成とする。